

## 意見交換会

### 1、アルチ・キッチンの経営者(Nilza Angmoさん)との懇談

\* 蕎麦の伝統食を提供している店 \* 冬季(11月~3月)の5か月間は休み。

#### 経営者((Nilza Angmoさん)の話(要旨))

- ① 伝統蕎麦食の提供は、以前から伝統料理に興味があったから。
- ② 外国人客(インド本国・タイ・ヨーロッパ)から「ラダック料理」はありますか？  
と言われて提供することにした。
- ③ 蕎麦のメニュー ⇒ 「テンテン」・「モクモク」・「チュータギ」の3種。
- ④ ラダック人は、蕎麦食の事を良く知らない。当然、栄養面の良さも余り知らない、健康に気をつけている方が増えてきたこともあって説明すると(納得して)注文する。
- ⑤ ラダックはオーガニック化を進めている。
- ⑥ 蕎麦粉の入手が難しく、高価(カルギールから250rp/Kgで買っている)。  
カシミール(スリナガル地方)の人達が買って行く。

- \* 蕎麦料理はラダックの地方(田舎)の村では食べているが市内の人は蕎麦料理を余り知らない、(米・小麦を食べているから・・?)、
- \* 最近メディアでも蕎麦の効用を載せていることもあって ⇒ 時間は掛かるが「価値のある食材」なので・・・と、期待している様子が伺えた。
- \* 蕎麦食が「美味しい料理」にならないと普及は難しい？
- \* 「ラダックはオーガニック化を進めている」とのことだが、地方(田舎)の村ではコンポスト方式(自然な肥料)で栽培していた。

### 2、自治政府ナムギャル議員・他の方々との意見交換会、発言要旨

#### ① ナムギャル議員

- ・2年後にインドで「世界そばシンポジウム」が開催されることは知らなかった、前向きに取り組みたい。
- ・ラダック人は蕎麦の効用を知らないが、皆さんに来て頂いたことで、最近メディアに載るなど、次第に理解するようになって来た。  
今後の普及活動に対し予算化されたところです。
- ・蕎麦栽培を増やすため、米・小麦粉の(安価な)配給を抑える施策が理解されて来ている。また来て頂いて自治政府と手を組んで協力をお願いしたい。

#### ② アルチキッチンの経営者

- ・美味しい蕎麦食をメニューに加えたい、今度来て頂いたら「蕎麦打ち」の場所も提供できるので是非、協力をお願いしたい。

#### ③ ラダッキーフードコーナーの経営者

- ・是非、来年も来て指導して欲しい、ラダックには海外からの観光客が多い、蕎麦食は健康に良い事を昨年知った。
- ・来年から蕎麦食をメニューに加えるため蕎麦粉200Kgをオーダーした。

#### ④ ダワ農業局長

- ・日本から3回も来て頂いたことでラダック人も(蕎麦食の効用を)知るキッカケになっている、「自治政府も動いている」、「二毛作も検討している」、貴方達に来て頂いてラダッキーは ラッキー！！

### 3、懇親会でのワングス議員、ダワ局長の発言要旨

- ① 今は農業教育が一番に行っている、農業収入が低いので、人が街に集中しているが、その人達を地方に戻し農業の安定化を目指している。  
農家の収入も増えて良くなっている。政府の配給も少なくなっている。  
**=政府の安価な配給？を少なくしている=**
- ② 化学肥料を使った所は問題が出ているので、ラダック全体のオーガニック化を進めていて、肥料会社にも協力をお願いしている。  
**=肥料会社のレー市内にある倉庫には化成肥料が一杯在庫している=**
- ③ (外国人が)ラダックにオーガニックな物を食べに来たが総てがオーガニックでは無い事を知ったようだ。
- ④ 今後はレー市内でもオーガニックな物を食べるようにするのが願いだ。
- ⑤ 従来は、蕎麦食は貧しい人の食べ物とっていて、蕎麦を栽培しても家畜の餌にしていたが、メディアなどで蕎麦の効用が判って来た。
- ⑥ 私自身、蕎麦の効用を知らなかった、現在は毎朝、野菜・卵を入れてオムレツのようにして食べているので、皆にも勧めている。  
**=議員は、子供の頃には蕎麦を食べていた=**
- ⑦ 農家に若い人が居ない、家畜が居ない、が2020年迄にはオーガニック化したい。
- ⑧ (蕎麦は)2年前は70rp/Kg、1年前は80rpしていた。若い人が種を400Kg買って栽培に成功、「サスポール村」に売った。
- ⑨ 次回(来年)、来て頂けたら、皆さんを招待(議員の家に泊まって頂く)したい。

**\* 蕎麦粉が高騰していてビックリ！**

**政府からの米・小麦粉の配給価格は40rp/Kg？(3年前)と聞いている。**



アルチキッチンAngmoさん



レー フードコーナーLamoさん



ワングス議員



ナムギャル議員



ダワ農業局長